

沖縄県公安委員会定例会会議録（令和8年6月4日）

1 主な報告等

(1) 令和8年度「沖縄伝統空手」開講式の実施について

警察本部から「警察学校では令和元年から県空手振興課に講師派遣を依頼して沖縄伝統空手の訓練を導入しているところ、5月29日に沖縄空手道連盟講師を招き、「開講式」を実施した。」旨説明があった。

公安委員から「県警で沖縄伝統空手をつないでいくことは意義がある。柔道、剣道、逮捕術といった警察術科も重要であり、同術科とのバランスもとっていく必要があると思う。」旨発言があった。

(2) 沖縄県警察サイバーセキュリティボランティアの活動状況について

警察本部から「これまでのサイバーパトロールサポーター及び防犯ボランティアを発展的に解消し、令和7年10月23日、6団体8個人をサイバーセキュリティボランティアとして新たに委嘱している。同ボランティアの活動事例として、「広報啓発動画コンテストへの応募」「体験型AIツールの開発・実演」等が行われた。

5月12日に同ボランティアに対する研修会を開催し、学生による活動発表や県内で発生した具体的事例等を検討するグループワークを行った。」旨説明があった。

公安委員から「意義のある研修会だと思う。ボランティアを維持するには「モチベーションの維持」が重要である。今後もモチベーション維持に心を配ってほしい。」旨発言があり、警察本部から「ボランティアに対し、ボランティア活動にかかる成果を示すなど、やりがいを感じてもらえる取組を行っていきたい。」旨説明した。

(3) 連続発生した窃盗事件被疑者の検挙について

警察本部から「令和7年10月から本年1月までの間、うるま市所在のアパート駐車場等で連続発生した窃盗事件（車上ねらい）につき、特異な犯行手口であったことから、同種手口の前歴を有する被疑者を割り出し、所用の捜査で特定し検挙した。本年1月から2月までの間、豊見城市所在の公園等で連続発生した窃盗事件（自動販売機ねらい）につき、捜査線上に浮上した被疑者を対象に夜間警戒中、被疑者の不審行動を認め職務質問し検挙した。」旨説明があった。

公安委員から「盗難対策はどのようにすればよいか。」旨発言があり、警察本部から「車内にモノや現金を置かない、鍵をかけるなどの防犯活動が大切と考えている。関係部署と連携して、啓発活動と早期検挙を行っていきたい。」旨説明があった。

(4) 令和8年台風第6号に伴う災害警備の実施結果について

警察本部から「台風6号に伴う災害警備については、5月30日に県警察災害警備対策本部を立ち上げ、警察署においても八重山署をのぞく13警察署で署災害警備本部が設置された。被害状況については、台風関連110番件数が148件あり、復旧作業中作業員が感電する重傷事案が1件発生した。警察措置としては、沖縄県災害対策本部会議に警察本部長等が出席し、大規模災害対応に備え、機動隊において派遣要員を編成した。」旨説明があった。

公安委員から「台風対応について、離島で人員が足りない場合はどうするか。」旨発言があり、警察本部から「必要に応じて、本部要員や機動隊員を派遣することとなるが、通常は災害発生場所を管轄する警察署が対応することとなるので、署の災害対処能力向上のために訓練を行っている。」旨発言があった。

(5) その他

警察本部から「引き続き、刑法犯認知件数については、コロナ禍以降全国的に増加傾向にある。ピーク時に比べるとかなり減少しているが、犯罪を起こしにくい環境づくりといった防犯対策と早期検挙を組み合わせたい。台風対策については、事前の準備に万全を期すのはもちろんだが、これまでの教訓を踏まえ、さらにやれることがないか引き続き検討していきたい。」旨発言があった。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- ・ 公安委員会宛て苦情の受理について
- ・ 公安委員会宛て意見要望について
- ・ 裁決書の裁決について

(2) 交通部

- ・ 事件関係報告
- ・ 自動車運転免許の行政処分について
- ・ 公安委員会苦情の調査結果について（2件）

(3) 警備部

- ・ 警察職員の援助要求について